



カトマンズ今日この頃

ビスターレ・ジャノス

第0号

2006年10月

「カトマンズ今日この頃 *ビスターレ・ジャノス*」をはじめるにあたって

9月23日のヘリコプター事故で森林大臣を始め24人が亡くなりましたが、ハルカ・バハドゥール・グルン博士も事故の犠牲になりました。34年前カトマンズに着いてまもなく国家計画委員会執務室でお会いしてご指導いただいたのが懐かしく思い出されます。33歳にして副委員長（委員長は国王）を務めておられました。観光大臣を始め長年にわたり政府の要職を歴任されました。享年67歳、ご冥福をお祈り申し上げます。

1972年5月中旬にカトマンズにやって来ました。市の中心部のトゥンディケル広場、ラトナパークの周辺で、強い日差しに負けないあでやかな紫の花を咲き誇っているのがジャガランタの木々です。初めての外国旅行であり、長期滞在でした。東部山地のルムジヤタール村での一年間の農村調査のため、まもなくカトマンズを後にしました。

その後2回のネパール滞在を経て、1989年の4回目の滞在は、ネパールの歴史の大きな転換点にあたります。政党が認められない翼賛議会政治のパンチャヤト政治体制に代わり、民衆の力によって議会制民主主義が取り戻されたのが1990年でした。成熟していない政党による政治は、行政をふくめ混乱した状況をつくりました。

1996年には、共産党毛沢東主義派（マオイスト）が西部の山地部に拠って反政府武装闘争を開始し、全土に勢力を拡大しました。10年間に15,000もの人が犠牲になっています。2001年には王宮大虐殺事件が起こり、ギャネンドラ現国王が兄王から王位を継承し（3日間先王皇太子が王位につく）、2005年2月国王親政体制を確立しましたが、今年4月のジャナ・アンドランと呼ばれる民衆抗議行動の盛り上がりによって議会が復活し、国王の政治権力をふたたび国民に取り戻しました。現在、政府とマオイストの双方が停戦を宣言して和平交渉が続けられています。

2005年5月からの6回目の滞在も奇しくもこのような変動期に遭遇したわけですが、後発途上国であるネパールが1950年に近代化に踏み出して半世紀をへたいま、民主政治確立への最後のしん吟であってほしいと願いつつ当地で活動を続けています。

当地での活動は、ネパールの経済の活性化に微力ながらお手伝いできればと願って、①日本企業の対ネパール投資の促進をはかること、②村からの経済底上げをはかるべく小規模なコミュニティ（地域社会）開発プロジェクトを実行すること、を目的としています。前者は、投資情報の提供、投資認可取得、会社設立・運営等を支援いたします。すでに日本の製造業一社から依頼をいただき、会社設立手続きを進めています。当国の技術革新に寄与し、国内市場のみならずインドをはじめとする南アジア諸国への輸出が期待されます。また、後者は、公的資金あるいは善意のご寄付を仰いでコミュニティ開発プロジェクトを実施いたします。農村道路改修、代替エネルギー（マイクロ水力、太陽光、バイオマス等）、農業・灌漑、観光、防災、保健、一村一品事業等の計画を策定しており、プロジェクト資金の調達を模索しているところです。

この情報誌をお届けする主意は、歴史の大きな流れのなかでダイナミックに躍動しているネパールの今日の姿をご紹介するとともに、活動の趣旨にご賛同いただき皆様のご支援を賜ればと願うものです。個人でネパールにご興味をお持ちの皆様、企業、NGO等の法人の皆様にお役に立つ情報をお届けできるかと思えます。また、皆様のご相談に応じることができるかと思えます。

11月から毎月始めにご希望の方に無料でメール配信いたします。構成は以下のとおりです。

1. **カトマンズつれづれ**
風土、文化、市井の出来事を歳時記風にお伝えします。
2. **ネパールこんなこと**
ちょっと眼をひくカレントな話題を拾って紹介します。
3. **ネパールのうごき**
前月の政治、経済、社会のトピックスをかいつまんで報告します。分野別時系列的に出来事を一覧表にまとめます。
4. **政策・法令について**
主な政策の策定や法令の制改定につきお知らせします。
5. **本・CDの紹介**
最近評判の出版物（本や音楽）を紹介します。

メール配信のお申し込みあるいはお問い合わせは以下のメール・アドレスまでお願いいたします。お申し込みをお待ちしています。

montadiocj@ric.hi-ho.ne.jp

本誌副題の *ビスターレ・ジャノス* とは、ネパール語で、《ビスターレ》が「ゆっくりと」、《ジャノス》が「いってらっしゃい」の意ですが、旅立つ人への挨拶言葉として「お氣をつけて」の意味です。いかにもネパールの人々にそぐわしい表現と思います。新たな活動を期して、自身への励ましとして付しました。

モンタディオコンサルティング
カトマンズ、ネパール

代表 菅沼 一夫

